

↓ 当案内および過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

新規受託項目

- [13803] サイログロブリン (Tg) 《CLIA》
- [13802] TSHレセプター抗体定量 (TRAb定量) 《CLIA》

受託開始日

- 2025年10月1日(水)
 - ・ 現行の[05221] サイログロブリン (Tg) および[26309] TSHレセプター抗体定量 (TRAb定量) は2026年3月31日(火)をもちまして、検査受託を中止する予定です。



サイログロブリン (Tg)

サイログロブリン (thyroglobulin: Tg) は、分子量約660,000の糖タンパク質であり、2つのサブユニットから構成されています。甲状腺濾胞細胞により産生され、甲状腺ホルモンの前駆体として濾胞腔内に貯えられています。

甲状腺刺激ホルモン (TSH) の作用により、甲状腺ペルオキシダーゼ (TPO) を介してヨウ素がTgに結合し、トリヨードサイロニン (T3) およびサイロキシン (T4) が生成されます。この一連の反応は、甲状腺ホルモンの合成、貯蔵、分泌において中心的な役割を担っています。

Tgは甲状腺濾胞細胞のみで産生されるため、臓器特異性の高いマーカーとされています。しかし、良性から悪性までさまざまな甲状腺疾患によりTg値は上昇することがあるため、疾患特異性は低いとされています。臨床においては、特に甲状腺分化癌の術後経過観察において、Tg測定は再発・残存腫瘍の早期検出に有用であるとされています。

検査要項

新規受託項目		参考 (現行法)
項目コード	13803	05221
検査項目名	サイログロブリン (Tg) 《CLIA》	サイログロブリン (Tg)
検 体 量	血清 0.4mL * [容器番号: 01番→02番]	血清 0.3mL [容器番号: 01番]
保 存 方 法 (安 定 性)	冷蔵 (1週)	冷蔵 (2週)
検 査 方 法	CLIA	ECLIA
基 準 値	3.68~64.15 ng/mL	33.7 ng/mL 以下
報 告 下 限	0.14 ng/mL 未満	0.04 ng/mL 未満
報 告 上 限	999,000 ng/mL 以上	同左
報 告 桁 数	小数2位、有効3桁	同左
所 要 日 数	2~3日	同左
検査実施料	128点 ([D008] 内分泌学的検査「16」)	同左
判 断 料	144点 (生化学的検査 (Ⅱ) 判断料)	同左
備 考	*: 必ず血清分離の上、ご提出ください。	

参考文献

久保敬補, 他: 医学と薬学 77 (1): 99-107, 2020.

TSHレセプター抗体定量 (TRAb定量)

甲状腺刺激ホルモン (TSH) レセプターは、甲状腺濾胞細胞膜上に存在する分子量約100,000の糖タンパク質であり、TSHが結合することで細胞内のcAMP濃度が上昇し、甲状腺ホルモンの合成および分泌が促進されます。

TSHレセプター抗体 (TRAb) は、TSHレセプターに対する自己抗体であり、受容体に結合することでTSHと同様の作用を示します。その結果、甲状腺ホルモンが過剰に産生され、甲状腺機能亢進症を引き起こし、バセドウ病の主な病因とされています。

本検査はCLIA法により定量的にTRAbを測定し、甲状腺機能亢進症の鑑別診断、特にバセドウ病の診断において極めて有用な検査法です。

検査要項

	新規受託項目	参考 (現行法)
項目コード	13802	26309
検査項目名	TSHレセプター抗体定量 (TRAb定量) 《CLIA》	TSHレセプター抗体定量 (TRAb定量)
検 体 量	血清 0.4mL [容器番号: 01番]	血清 0.3mL [容器番号: 01番]
保 存 方 法 (安 定 性)	冷蔵 (2週)	冷蔵 (6日)
検 査 方 法	CLIA	ECLIA
基 準 値	3.10 IU/L 未満	2.0 IU/L 未満
報 告 下 限	1.26 IU/L 未満	0.8 IU/L 未満
報 告 上 限	500 IU/L 以上	40.0 IU/L 以上
報 告 桁 数	小数2位、有効3桁	小数1位、有効3桁
所 要 日 数	2〜3日	同左
検査実施料	214点 ([D014] 自己抗体検査 [27])	同左
判 断 料	144点 (免疫学的検査判断料)	同左

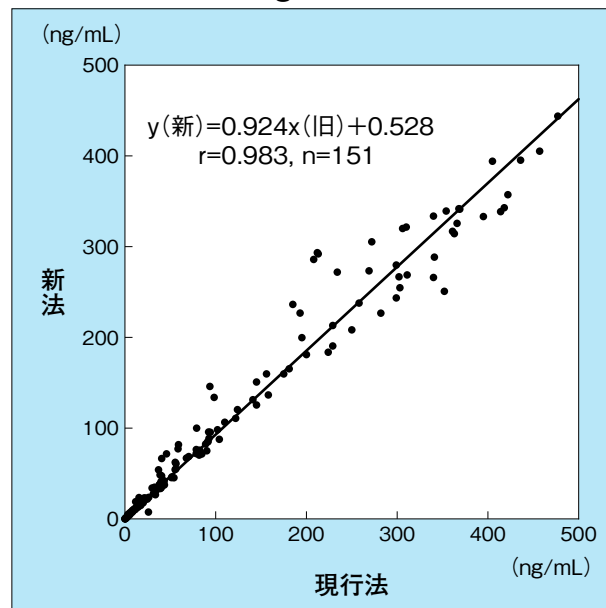
実施上の留意事項 (令和6年3月5日 保医発0305第4号より抜粋)
(8) 抗TSHレセプター抗体 (TRAb)
「27」の抗TSHレセプター抗体 (TRAb) 及び「40」の甲状腺刺激抗体 (TSAb) を同時に行った場合は、いずれか一方のみ算定する。

参考文献

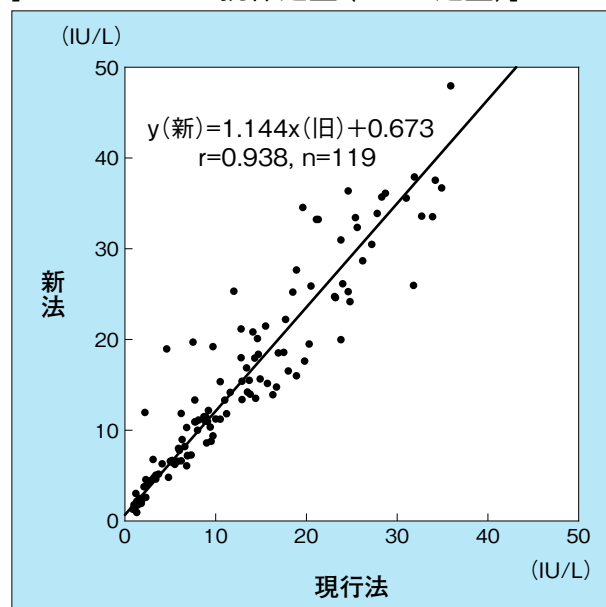
山田 徹, 他: 医学と薬学 78 (5): 615-626, 2021.

現行法との相関

[サイログロブリン (Tg)]



[TSHレセプター抗体定量 (TRAb定量)]



(社内検討データ)